

戸建住宅でのエアコン併用時の蓄熱暖房器容量								
建築物		戸建住宅（新築／改築）						
畳数		4.5畳以下	4.6畳～8畳	8.1畳～12畳	12.1畳～20畳	20.1畳～30畳		
併用するエアコン能力(出力)		2.2KW	2.5KW	4.5KW	5.5KW	6.5KW		
地域	Ⅲ地区	Q値	2.4W/㎡・k	WSP-200TEJ	WSP-300TEJ	WSP-400TEJ	WSP-500TEJ	WSP-600TEJ
	Ⅳ地区		2.7W/㎡・k	WSP-150SEJ	WSP-200TEJ	WSP-300TEJ	WSP-400TEJ	WSP-500TEJ

鉄筋コンクリートマンションでのエアコン併用時の蓄熱暖房器容量								
建築物		マンション						
畳数		4.5畳以下	4.6畳～8畳	8.1畳～12畳	12.1畳～20畳	20.1畳～30畳		
併用するエアコン能力(出力)		2.2KW	2.2KW	2.8KW	4.5KW	5.5KW		
地域	Ⅲ地区	Q値	2.4W/㎡・k	WSP-150SEJ	WSP-200TEJ	WSP-300TEJ	WSP-400TEJ	WSP-500TEJ
	Ⅳ地区		2.7W/㎡・k					

地域	Ⅲ地区	宮城県	山形県	福島県	栃木県	新潟県	長野県							
	Ⅳ地区	茨城県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	富山県	石川県	福井県	山梨県	岐阜県	静岡県	愛知県
		三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
		香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県					

但し、次の市町村にあつては、上の区分にかかわらず、II地域に区分されるものとする

栃木県 日光市、足尾町、栗山村、藤原町、塩原町

群馬県 長野原町、嬭恋村、草津町、六合村、白沢村、利根村、片品村、川場村、水上町

山梨県 富士吉田市、小淵沢町、西桂町、忍野村、山中湖村、河口湖町

【算出条件】

稼働率……蓄熱暖房器2:エアコン1(全体負荷の67%を蓄熱暖房器で賄うものとして計算)

温度差……Ⅲ地区25℃/Ⅳ地区22℃

※エアコン出力 表記単位はJIS規格のkW(キロワット)で表示しています

※エアコン能力目安

2.2KW・・・6畳～8畳程度 4.5KW・・・10畳～14畳程度

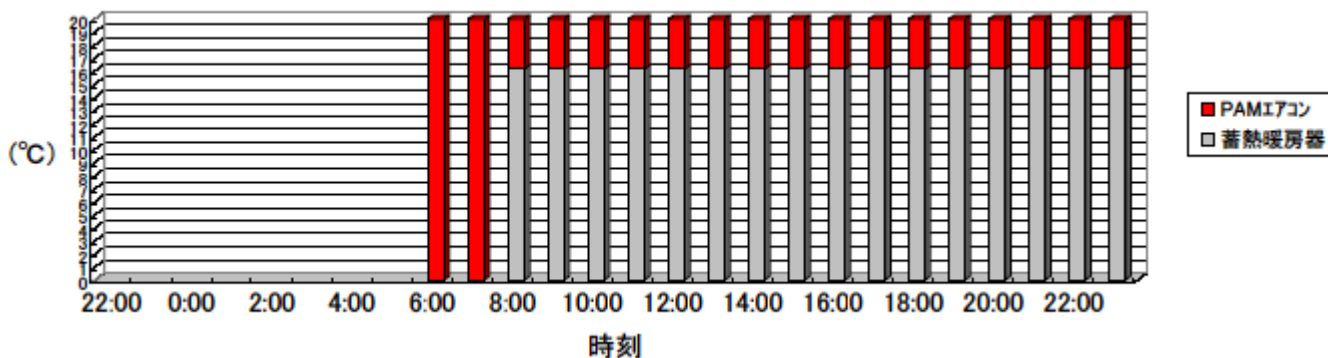
2.5KW・・・8畳～10畳程度 5.5KW・・・12畳～18畳程度

2.8KW・・・9畳～12畳程度 6.5KW・・・20畳程度

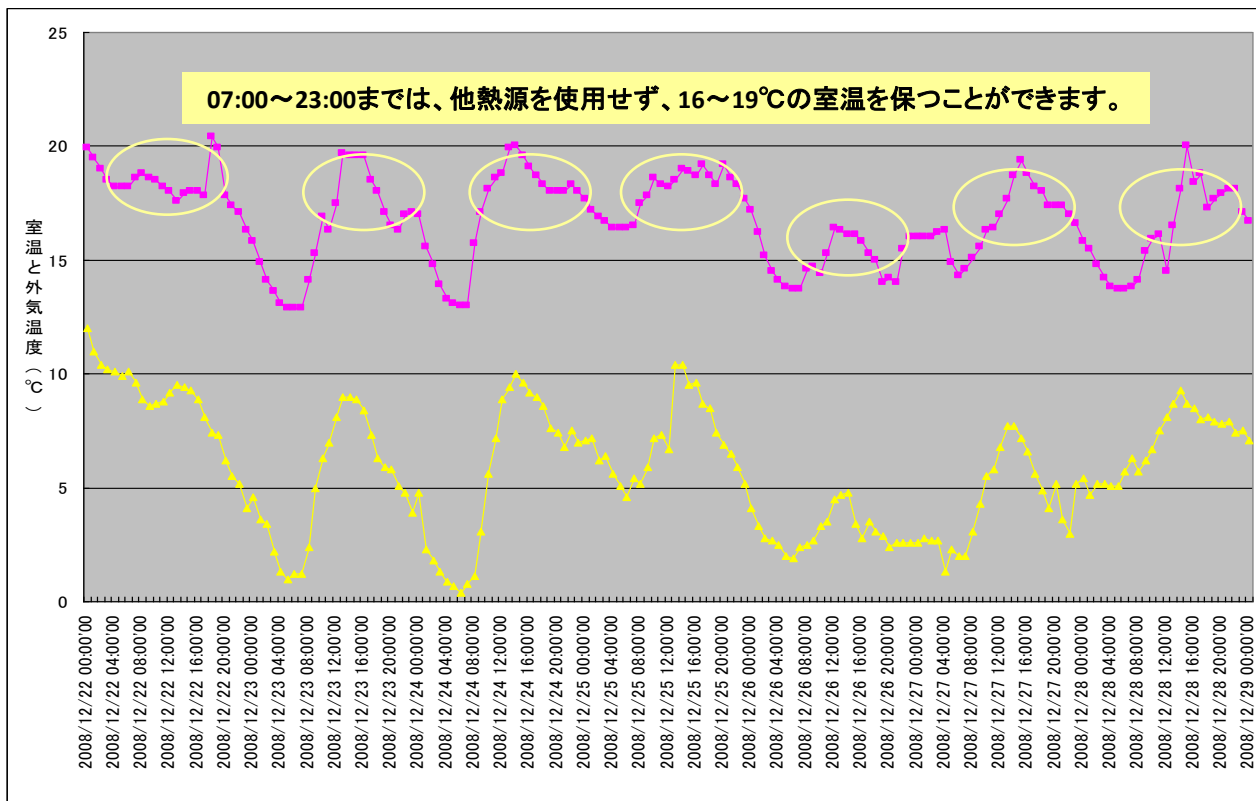
蓄熱暖房器でベース温度をつくり、
必要に応じてエアコンで不足分の熱量を補うシステムです。

■使用比率・・・蓄熱暖房器で暖房負荷全体の67%以上を賅うことが適当です。

厳寒期の暖房設定温度



■リビング部分暖房 (WSP-700TEJ設置) 暖房負荷全体の約68%を700TEJで賅う。エアコン使用せず。



■調査対象 滋賀県守山市内 M様邸

■調査期間 08年12月22日～12月28日

■暖房負荷計算では、11.3kw分の蓄熱暖房器が必要。